

# MONITOUCH

## テクニカルインフォメーション

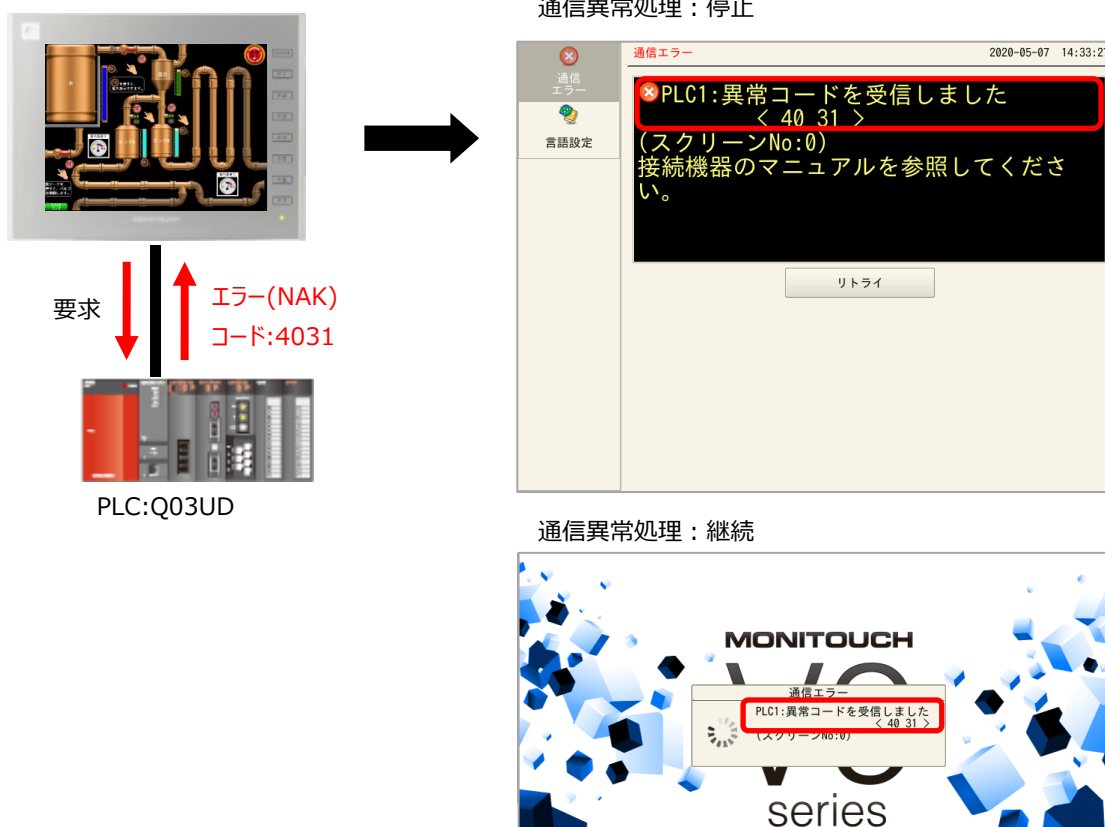
2020年6月26日

テーマ	異常コード受信時の簡単ガイド（三菱電機製 PLC、富士電機製 PLC 編）		
該当機種	V9、V8、V7、V6、TELLUS4、TELLUS3、TELLUS	No. TI-M-0062-2	1/11

### 1. 目的

Vシリーズ上に表示される、「通信エラー 異常コードを受信しました <xxxx>」や「通信エラー 受信コード xxxx」は、PLC（接続機器）からのエラー（NAK）コードです。  
よくあるエラーコードの原因と対処方法について紹介します。

例：V9シリーズと三菱電機 Q03UD を接続



エラーの発生するタイミングによって、原因の箇所を特定しやすくなります。以下の点にご留意ください。

- 一瞬画面を表示してエラー ⇒ その画面に設定した PLC デバイスに原因がある (P.10 参照)
- 全く画面を表示せずエラー ⇒ 以下の箇所に設定した PLC デバイスが原因の可能性ある (P.11 参照)
  - ◇ 読込エリア／書込エリア、制御エリア
  - ◇ バックアップエリア、アラームサーバ、ロギングサーバ
  - ◇ マクロ設定（初期マクロ、イベントタイママクロ）
- たまにエラー ⇒ ノイズやハード要因の可能性ある

■ 参照先

<b>2. 三菱電機(株)</b> .....	<b>3</b>
2-1. QnU/QnH シリーズ シリアル接続 .....	3
2-2. QnU/QnH シリーズ Ethernet 接続.....	4
2-3. FX シリーズ シリアル接続.....	5
2-4. FX3U ENET-L Ethernet 接続.....	5
2-5. FX5U シリアル接続.....	5
2-6. FX5U Ethernet 接続 .....	6
2-7. CC-LINK 接続.....	6
2-8. A シリーズリンク シリアル接続.....	7
<b>3. 富士電機(株)</b> .....	<b>8</b>
3-1. MICREX-SX シリアル接続.....	8
3-2. MICREX-SX Ethernet 接続.....	8
3-3. MICREX-SX SX バス接続 .....	8
3-4. MICREX-SX T リンク接続.....	9
3-5. MICREX-F T リンク接続 .....	9
<b>4. 補足: デバイスの検索方法 (V-SFT-6 の場合)</b> .....	<b>10</b>
4-1. 画面上のアイテムのデバイスを表示して確認する方法 .....	10
4-2. [アイテム一覧]で、画面上に使われているアイテムを一覧表示する方法 .....	10
4-3. [デバイス検索]で、画面データで使用しているデバイスを一覧表示する方法.....	11
4-4. 画面上のアイテムを削除する.....	11

## 2. 三菱電機(株)

### 2-1. QnU/QnH シリーズ シリアル接続

#### エラーコード一覧

コード	エラー項目	原因	対処
4006	共通エラー	シリアル通信の初期化に失敗した	<b>V シリーズ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● V-SFT で選択している PLC 機種が合っているか、確認する 例： Q00UJCPU と接続だが、「Q00J/00/01 CPU」を選択している ⇒「QnU シリーズ CPU」に変更</li> </ul> <b>PLC</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● PLC ソフトで選択している CPU ユニットの形名が合っているか、確認する</li> <li>● PLC ソフトにシリアルコミュニケーション機能を設定していれば、設定をやめる</li> <li>● GOT トランスペアレント機能の使用をやめる <b>*データ書き込み後、PLC の電源再投入が必要です</b></li> </ul>
4030	デバイス指定エラー	指定したデバイス名が扱えない	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す
4031		指定したデバイス No.が範囲外である	
4032		指定したデバイス修飾に誤りがある 以下のコマンドに使用できないデバイス名 (TS,TC,SS,SC,CS,CC) を指定した <ul style="list-style-type: none"> <li>● ランダム読出/書込 (ワード単位)</li> <li>● モニタ登録</li> <li>● モニタコマンド</li> </ul>	
7167	RUN 中不可	RUN 中書き込み不可の設定時に書き込みコマンドを指定した	<b>PLC</b> [PC パラメータ]→[I/O 割付設定]→[スイッチ設定]で“RUN 中書き込み”を許可にする <b>*データ書き込み後、PLC の電源再投入が必要です</b>
716C	システムエラー	QJ71C24x の OS が、何らかの異常を検出した	<b>PLC (CPU が QnUDE (内蔵 LAN ポートあり) 時のみ)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● QJ71C24x が古いと発生 シリアル No. : 10042 機能 Ver. B 以降を使用する</li> <li>● QJ71C24x、電源ユニット、CPU ユニットがベースユニットに正しく装着されているか確認する</li> <li>● QJ71C24xの使用環境が、CPU ユニットの一般仕様の範囲内か確認する</li> <li>● 電源容量が足りているか確認する</li> <li>● QJ71C24x、CPU ユニット、ベースユニットについて、各ユニットのマニュアルに従いハードウェアが正常か確認する <b>*エラーが直らない場合、三菱電機にお問い合わせください</b></li> </ul>

7E47	連続要求 エラー	応答伝文を返す前に次の 要求を受信した	<b>V シリーズ</b> ● [タイムアウト時間]を長くする ● [送信遅延時間]を長くする  <b>PLC</b> PLC に設定したタイマ 1 の監視時間を V シリーズの [タイムアウト時間]と合わせる <b>*データ書込み後、PLC の電源再投入が必要です</b>
7F01	バッファフル エラー	受信データの処理が完了 する前に次のデータを受信 した 1 つのチャンネルに対して同 時に複数の要求があった	<b>V シリーズ</b> [タイムアウト時間]を長くする

\* 詳細、その他のエラーコードについては、三菱電機のマニュアルを参照してください。

『QCPU ユーザーズマニュアル（ハードウェア設計・保守点検編）』

『Q 対応 シリアルコミュニケーションユニット ユーザーズマニュアル（基本編）』

## 2-2. QnU/QnH シリーズ Ethernet 接続

### エラーコード一覧

コード	原因	対処
4031 0000	指定したデバイス No.が範囲外である	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す
0055 0000	RUN 中にシーケンサ CPU が相手機器からのデータの書込みを要求した	<b>PLC</b> [ネットワークパラメータ] → [動作設定]または [PC パラメータ] → [内蔵 Ethernet ポート設定] → [RUN 中書込を許可する]にチェックを付ける <b>*データ書込み後、PLC の電源再投入が必要です</b>
C056 0000	最大アドレスを越える読出／書込要求があった アドレスが 0 である	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す  <b>PLC</b> 先頭アドレスまたは読出／書込点数を修正し、再度 Ethernet ユニットへ送信する（最大アドレスを越えないようにする） <b>*データ書込み後、PLC の電源再投入が必要です</b>
C059 0000	コマンド、サブコマンドの指定に誤りがある	<b>V シリーズ</b> PLC 機種を「QnH(Q)シリーズ(Ethernet)」の設定にし、QnU の CPU 内蔵 LAN ポート接続した場合に発生する ● PLC 機種を「QnU シリーズ(内蔵 Ethernet)」に変更する ● V-SFT-6 の場合 [複数ブロッカー一括読出し]を「しない」に設定 [ランダム読出し]を「する」に設定 ● V-SFT-5 の場合 [ <input type="checkbox"/> 複数ブロッカー一括読出し]のチェックを外し、 [ <input type="checkbox"/> ランダム読出し]にチェックする

C05E 0000	Ethernet ユニットとシーケンサ CPU との通信時間が CPU 監視タイマを越えた	<b>PLC</b> CPU 監視タイマを長くする シーケンサ CPU が正常に動作しているか確認する <b>*データ書き込み後、PLC の電源再投入が必要です</b>
C070 0000	対象局に対しては、デバイスメモリの拡張指定はできない	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す

\* 詳細、その他のエラーコードについては、三菱電機のマニュアルを参照してください。

『QnUCPU ユーザーズマニュアル (内蔵 Ethernet ポート通信編)』

『Q 対応 Ethernet インターフェースユニット ユーザーズマニュアル (基本編)』

### 2-3. FX シリーズ シリアル接続

#### エラーコード一覧

コード	エラー項目	原因	対処
06	キャラクタ部エラー	CPU に存在しないデバイス番号を指定している	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す

\* 詳細、その他のエラーコードについては、三菱電機のマニュアルを参照してください。

『FX ユーザーズマニュアル』

### 2-4. FX3U ENET-L Ethernet 接続

#### エラーコード一覧

コード	原因	対処
50 0000	サブヘッダのコマンド/レスポンス種別が規定以外のコードになっている	<b>PLC</b> PLC の設定を[Ethernet オープン設定]→「コネクション NO.3」または「4」に登録する No.3、4 : MC プロトコル (No.1、2 は固定バッファ) <b>*データ書き込み後、PLC の電源再投入が必要です</b>

\* 詳細、その他のエラーコードについては、三菱電機のマニュアルを参照してください。

『FX3U-ENET-L ユーザーズマニュアル』

### 2-5. FX5U シリアル接続

#### エラーコード一覧

コード	原因	対処
7143	デバイス番号エラー 先頭デバイス番号が範囲外である	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す
7164	要求内容エラー 要求内容またはデバイス指定方法に誤りがある	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す

\* 詳細、その他のエラーコードについては、三菱電機のマニュアルを参照してください。

『FX5 ユーザーズマニュアル(シリアル通信編)』

## 2-6. FX5U Ethernet 接続

### エラーコード一覧

コード	原因	対処
C056 0000	最大アドレスを超える書込みおよび読出し要求である	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す <hr/> <b>PLC</b> 先頭アドレスまたは読出／書込点数を修正し、再度 Ethernet ユニットへ送信する（最大アドレスを越えないようにする） *データ書込み後、PLC の電源再投入が必要です
C059 0000	コマンド、サブコマンドの指定に誤りがある。 CPU ユニットでは使用不可のコマンド、サブコマンドである。	<b>V シリーズ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● V-SFT-6 の場合 [複数ブロッカー一括読出し]を「しない」に設定 [ランダム読出し]を「する」に設定</li> <li>● V-SFT-5 の場合 [<input type="checkbox"/>複数ブロッカー一括読出し]のチェックを外し、 [<input type="checkbox"/>ランダム読出し]にチェックする</li> <li>● PLC 機種を「FX5U/5UC シリーズ(Ethernet)」に変更する</li> </ul>

\* 詳細、その他のエラーコードについては、三菱電機のマニュアルを参照してください。

『FX5 ユーザーズマニュアル(Ethernet 通信編)』

## 2-7. CC-LINK 接続

### エラーコード一覧

コード	エラー項目	原因	対処
0000	-	局番設定に誤りがある	<b>V シリーズ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● V9 シリーズの場合 [ハードウェア設定]→[PLC1 プロパティ]→[通信設定]→[局番]を「0」にする</li> <li>● V8 シリーズの場合 [接続機器設定]→[通信設定]→[局番]を「0」にする</li> <li>● V7/V6 シリーズの場合 [PLC 通信]→[通信パラメータ]→[細かい設定]→[相手先局番]を「0」にする</li> </ul>
B404	応答エラー	要求先の局から監視時間内に応答が返ってこない	<b>PLC</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● [監視時間]の設定値を長くする</li> <li>● ノイズ対策を行う</li> </ul> *データ書込み後、PLC の電源再投入が必要です
B608	モード設定エラー	I/O モード時に自局シーケンサ CPU 宛のトランジエント要求を受信した	<b>PLC</b> PLC の電源を OFF し、条件設定スイッチの SW8 を OFF（インテリモード）にする
B807	デバイス番号エラー	デバイスの先頭番号が範囲外、またはビットデバイスアクセス時に、アドレスが 16 の倍数でない	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す

- \* 詳細、その他のエラーコードについては、三菱電機のマニュアルを参照してください。  
『CC-LINK システムマスタ・ローカルユニット ユーザーズマニュアル（詳細編）』

## 2-8. A シリーズリンク シリアル接続

### エラーコード一覧

コード	エラー項目	原因	対処
06	キャラクタ部 エラー	CPU に存在しないデバイス番号を指定している	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す

- \* 詳細、その他のエラーコードについては、三菱電機のマニュアルを参照してください。  
『計算機リンク/マルチドロップリンクユニット ユーザーズマニュアル（計算機リンク機能・プリンタ機能編）』

### 3. 富士電機(株)

#### 3-1. MICREX-SX シリアル接続

##### エラーコード一覧

コード	原因	対処
22	通信データ異常	ノイズ対策をする
44	PLC内の存在しないメモリにアクセスしようとした	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す
45		
A0	指定された PLC の CPU No.が存在しない	<b>V シリーズ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面データに設定した PLC デバイス (CPU No.) を確認する</li> <li>● 画面データに X/Y (入/出力デバイス) を設定する場合、SX のプロジェクトファイルから出力した INI ファイルをインポートする</li> </ul>

\* 詳細、その他のエラーコードについては、各 PLC マニュアルを参照してください。

#### 3-2. MICREX-SX Ethernet 接続

##### エラーコード一覧

コード	原因	対処
44	PLC内の存在しないメモリにアクセスしようとした	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す
45		
A0	指定された PLC の CPU No.が存在しない	<b>V シリーズ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面データに設定した PLC デバイス (CPU No.) を確認する</li> <li>● 画面データに X/Y (入/出力デバイス) を設定する場合、SX のプロジェクトファイルから出力した INI ファイルをインポートする</li> </ul>

\* 詳細、その他のエラーコードについては、各 PLC マニュアルを参照してください。

#### 3-3. MICREX-SX SX バス接続

##### エラーコード一覧

コード	原因	対処
22	パラメータ異常	ノイズ対策をする
28	PLC ソフトからのアクセス中で、V シリーズの処理ができない (主にプログラム転送中など)	PLC ロードの処理を待って、再度通信開始する
44	PLC内の存在しないメモリにアクセスしようとした	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイスに範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す
45		
A0	指定された PLC の CPU No.が存在しない	<b>V シリーズ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面データに設定した PLC デバイス (CPU No.) を確認する</li> <li>● 画面データに X/Y (入/出力デバイス) を設定する場合、SX のプロジェクトファイルから出力した INI ファイルをインポートする</li> </ul>

\* 詳細、その他のエラーコードについては、各 PLC マニュアルを参照してください。



### 3-4. MICREX-SX Tリンク接続

#### エラーコード一覧

コード	原因	対処
A0	指定された PLC の CPU No.が存在しない	<b>V シリーズ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 画面データに設定した PLC デバイス (CPU No.) を確認する</li> <li>● 画面データに X/Y (入/出力デバイス) を設定する場合、SX のプロジェクトファイルから出力した INI ファイルをインポートする</li> </ul>

\* 詳細、その他のエラーコードについては、各 PLC マニュアルを参照してください。

### 3-5. MICREX-F Tリンク接続

#### エラーコード一覧

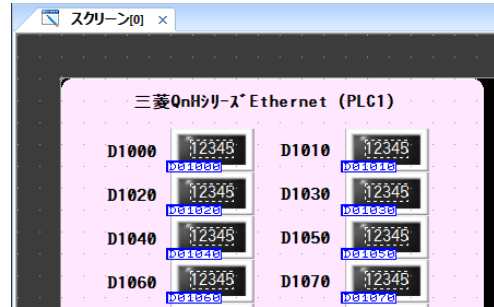
コード	原因	対処
32	PLC 内に該当するメモリがない	<b>V シリーズ</b> 画面データに設定した PLC デバイス (BD、WM など) に範囲外のアドレスがないか確認し、設定し直す
36	モニタ登録の点数が足りない	<b>PLC</b> 各 CPU の制限に合わせて、モニタ登録の点数/台数以内になるように修正する *データ書き込み後、PLC の電源再投入が必要です

\* 詳細、その他のエラーコードについては、各 PLC マニュアルを参照してください。

#### 4. 補足: デバイスの検索方法 (V-SFT-6 の場合)

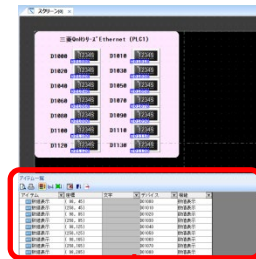
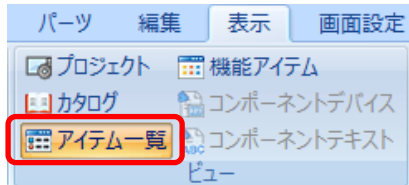
##### 4-1. 画面上的アイテムのデバイスを表示して確認する方法

[表示]→[表示環境設定]→[デバイス]にチェックします。



##### 4-2. [アイテム一覧]で、画面上に使われているアイテムを一覧表示する方法

[表示]→[ビュー]→[アイテム一覧]をクリックします。

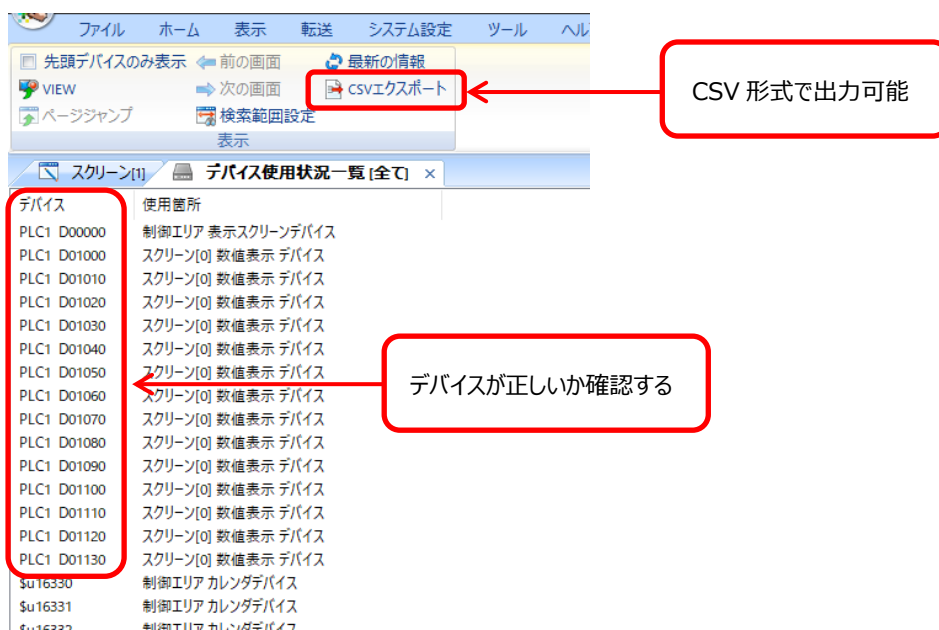
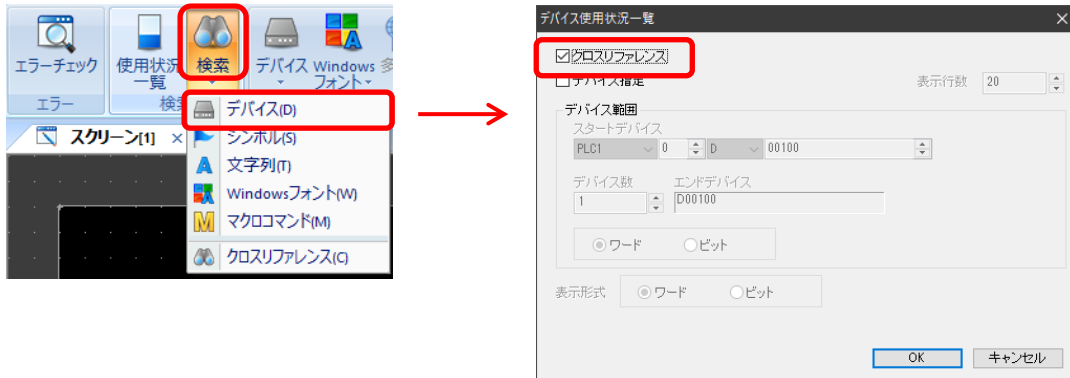


デバイスが正しいか確認する

アイテム	座標	文字	デバイス	機能
面取り R	( 0, 0)-(386, 386)			
背景テキスト	( 66, 29)	三菱QnHシリーズ Ether		
背景テキスト	(201, 74)	D1010		
背景テキスト	(201,114)	D1030		
背景テキスト	(201,154)	D1050		
背景テキスト	(201,194)	D1070		
背景テキスト	(201,234)	D1090		
背景テキスト	(201,274)	D1110		
背景テキスト	(201,314)	D1130		
背景テキスト	( 42, 75)	D1000		
背景テキスト	( 42,115)	D1010		
背景テキスト	( 42,155)	D1020		
背景テキスト	( 42,195)	D1030		
背景テキスト	( 42,235)	D1040		
背景テキスト	( 42,275)	D1050		
背景テキスト	( 42,315)	D1060		
背景テキスト	( 42,355)	D1070		
背景テキスト	( 42,395)	D1080		
背景テキスト	( 42,435)	D1090		
背景テキスト	( 42,475)	D1100		
背景テキスト	( 42,515)	D1110		
背景テキスト	( 42,555)	D1120		
コンポーネントロゴ	( 98, 49)			
数値表示	( 98, 45)		D01000	数値表示
数値表示	(258, 45)		D01010	数値表示
数値表示	( 98, 85)		D01020	数値表示
数値表示	(258, 85)		D01030	数値表示
数値表示	( 98,125)		D01040	数値表示
数値表示	(258,125)		D01050	数値表示
数値表示	( 98,165)		D01060	数値表示
数値表示	(258,165)		D01070	数値表示
数値表示	( 98,205)		D01080	数値表示
数値表示	(258,205)		D01090	数値表示
数値表示	( 98,245)		D01100	数値表示
数値表示	(258,245)		D01110	数値表示
数値表示	( 98,285)		D01120	数値表示
数値表示	(258,285)		D01130	数値表示

### 4-3. [デバイス検索]で、画面データで使用しているデバイスを一覧表示する方法

[ツール]→[検索]→[デバイス]で、「クロスリファレンス」だけチェックして実行します。



### 4-4. 画面上のアイテムを削除する

前述 4-1～4-3 の方法で、原因となるデバイスが見つけれられない場合は、次の方法をお試しください。

- \* スクリーン編集エリア外に配置されている不要なパーツがあれば削除してください。  
編集エリア外であっても、パーツにデバイスが設定してあると、PLCと通信します。
- \* デバイスを設定したアイテムを、画面から少しずつ削除して転送する、を繰り返してください。  
エラーが解消される直前に削除したアイテムに、原因となるデバイスが含まれている可能性があります。

【お問い合わせ】 発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208